

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	竹中 麻由美	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(医療福祉学)	
学位授与番号	乙第31号	
学位授与日付	平成31年3月14日	
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当	
論文題目	医療ソーシャルワーカー養成教育に関する研究～福祉および医療の視点からの検討～	
審査委員	教授 田口 豊郁	教授 末光 茂
	教授 熊谷 忠和	

博士論文内容の要旨

本論文は、社会福祉士養成課程での医療ソーシャルワーカー養成教育に関わる一連の研究から以下のことを論述したものである。①わが国における医療ソーシャルワークと社会福祉士および福祉施策の関係を明らかにするために、これらの動向についてレビューし、年表にまとめ、さらにソーシャルワークと社会福祉および医療の概念を整理し図示した。②従来の「事故およびヒヤリハット」(身体的)に加えて、ソーシャルワーク実習中の「心理的事故および心理的ヒヤリハット」の概念を新たに提案した。「心理的事故および心理的ヒヤリハット(コミュニケーションの失敗)」の発生を予防する教育の重要性に言及した。③専門職養成課程の福祉系学生と医療系学生の進路選択動機等に関する質問紙調査の結果、入学時点での目的意識の差(福祉系<医療系)を認めた。ソーシャルワーカーになるという動機付けが初期教育で必要であることを明らかにした。

これらの結果から、社会福祉士養成課程におけるアドバンスド教育としての医療ソーシャルワーカー養成教育の位置づけと実施モデルを示した。本論文は、医療ソーシャルワーカー養成を目指した社会福祉士養成教育の進展に貢献するものと期待できる。

博士論文審査結果の要旨

予備審査会(平成30年11月1日:博士論文提出予定者によるプレゼンテーションと口頭試問)および公開の論文発表会(平成30年11月9日)をもとに博士(医療福祉学)に値するか否かを審査した結果、3人の審査員の全員一致で合格とした(ただし、論文趣旨の明瞭化をさらに図るため、図表の活用・改善等が指摘された)。

適切に加筆・修正されたものが審査委員会(平成31年1月17日)に提出された。論文審査会でのプレゼンテーション・口頭試問、および提出博士論文を中心に、学位申請書、論文要旨、論文概要、論文目録、履歴書および参考となる論文等の提出書類を詳細に審査した結果、重要な知見を得た価値ある業績であると認め、医療福祉学専攻にふさわしい博士論文であると評価した。

審査委員会は、博士(医療福祉学)として適切であると認め、合格とする。